

今この人

笑顔のイベント「メリー・イン・ニューヨーク」を開いている
みずたに 水谷 孝次さん

不幸が大きい分、笑顔が美しい

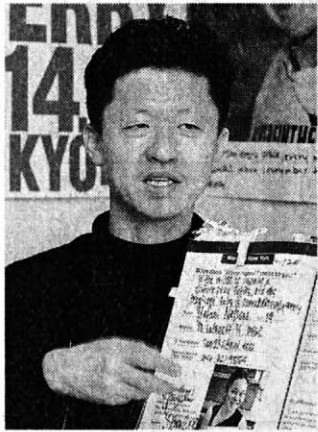
見ているこちらもほ

ろ。おが緩むような笑顔が約四百。9・11テロから一年たったニューヨークで「あなたにとってメリー(MERRY Y)とは何ですか？」と問い掛けながら写真を撮った。メッセージとともに展示する「メリー・イン・ニューヨーク」を東京・六本木の「THINK ZONE」で開いてい

る。「不幸が大きい分だけ、笑顔が美しい。ともに負の遺産を持つ、神戸でやったときにもそう感じました。撮った

葉に託した「メリープロジェクト」は、一九九九年に始まった。笑顔とメッセージをさまざまな方法で見せる。今回は五万部の新聞

く働き、数々の賞を受
けながらも、むなしさが募った。
「すべては商品売
るためのウソ。こんな
ことはおかしいとすっ
と思っていました」



ている僕にも、見る側にも、勇気や希望をくれる」

にしてニューヨーク、ロンドンでも同時に配った。

「不況だからこそ「や
るべきことがはっきり
見える」と笑う。五十
一歳。名古屋生まれ。

「メリークリスマス」のメリー。楽しさ、幸せ、希望といったポジティブな感情をその言

本業はアートディレクター。広告業界に札束が乱れ飛んだバブル時代を経験した。忙しい

「や
るべきことがはっきり
見える」と笑う。五十
一歳。名古屋生まれ。